

## インタビュー



**会社概要**  
ドイツワッカーケミー社のシクロデキストリンとその関連製品、スペシャルティ・ファインケミカル製品を取り扱う日本総代理店として02年7月に設立。  
☎03-5614-7147

キール大学など各大学機関と共同研究を行い、明確なエビデンスデータを元にさらに素材の提案力を高めていく考えです。  
そしてもう一つのポ

子を包接するという性質と、腸内でゲスト分子よりも、よりγCDと相性のいい(結合定数の大きい)胆汁酸と出会うことで包接されていたゲスト分子と入れ替わるという

置き換えることで、化粧品にも応用が可能となり、例えばC<sub>60</sub>Q10の肌吸収性を通常の約40倍に高めることに成功しました。もちろんC<sub>60</sub>Q10以外にもこの技術は応用可能と見ており、現在研究を進めています。まさに化粧品業界における大きな革命を起せると私

— 今力を入れている事業について。

寺尾 シクロデキストリン(以下、CD)を用いた様々な事業を展開してきていますが、現在は3つのポイントに特に注力しています。

一つは、昨年取り扱い開始したR体αリポ酸の知名度の向上です。

αリポ酸にはもともと生体内で合成されるR体のαリポ酸があります。胃酸や熱への安定性が低く、現在市場に出

## シクロケム

代表取締役社長

寺尾啓二氏

## サプリと化粧品の吸収性に革命を

イントはγCDで包接した素材の、吸収効率向上に関するメカニズムを明らかにすることで見出した革新的なナノテク技術をサプリ・化粧品双方の分野で広く普及していくことです。私どもはγCDが分子単位でゲスト分

もは考えています。

最後のポイントは、ビジネスとは関係の無い部分ですが、サプリメントを開発する方に向けた情報を提供する「機能報提供を行う書籍」機能性食品・サプリメント開発のための化学知識」を製作中です。食の安全を

この技術は胆汁酸を同様の働きを持つ、グリチルリチン酸シカリウムに

回っているαリポ酸製品の多くは、体内には存在しない非天然型のS体とR体を同量組み合わせ安定性を高めたラセミ体という状態のものです。私どもはCDを用いることでR体のみでの製品化に成功しました。

当面は、R体αリポ酸の有効性について、金沢大学、京都薬科大学、独

り、力を入れて取り組んでいく考えです。その上で下記のC<sub>60</sub>Q10やR体αリポ酸は大きなポイントとなるでしょう。

— 売り上げ状況は。

寺尾 10%以上の割合で伸びています。これは主にカテキン緑茶などCD配合製品の伸長によるCD自体の販売増が理由です。私どもはCD応用研究を得意としている会社ですので、今後はこの部分もさらに評価されるよう、力を入れて取り組んでいく考えです。その上で下記のC<sub>60</sub>Q10やR体αリポ酸は大きなポイントとなるでしょう。